



平成23年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年12月3日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社野田スクリーン
コード番号 6790 URL <http://www.nodascreen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成22年12月14日

(氏名) 小縣 英明
(氏名) 小川 清志
配当支払開始予定日

TEL 0568-79-0222
平成22年12月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年4月期第2四半期の連結業績(平成22年5月1日～平成22年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年4月期第2四半期	1,856	△2.7	269	△16.2	278	△18.6	174	△11.0
22年4月期第2四半期	1,908	△6.8	322	42.0	341	43.3	196	58.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年4月期第2四半期	1,637.83	—
22年4月期第2四半期	1,834.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年4月期第2四半期	7,521	6,847	91.0	64,218.92
22年4月期	7,606	6,748	88.7	63,296.98

(参考) 自己資本 23年4月期第2四半期 6,847百万円 22年4月期 6,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年4月期	—	300.00	—	500.00	800.00
23年4月期	—	400.00	—	—	—
23年4月期(予想)	—	—	—	400.00	800.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年4月期の連結業績予想(平成22年5月1日～平成23年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,530	△5.4	330	△47.5	350	△47.7	215	△46.2	2,016.45

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年4月期2Q 110,393株 22年4月期 110,393株
② 期末自己株式数 23年4月期2Q 3,770株 22年4月期 3,770株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年4月期2Q 106,623株 22年4月期2Q 106,903株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年9月2日発表の平成23年4月期通期の連結業績予想を修正しております。
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期前半においては政府の経済対策や新興国の需要拡大を背景に緩やかな回復基調となったものの、期後半にかけデフレや厳しい雇用情勢の継続に加え、一部の経済対策終了や円高・株安の進行などにより、景気の下振れリスクが一段と強まる厳しい状況となりました。

このような情勢のもと、当社グループは、全社的な業務効率化を推進するとともに、山梨工場建設に着工し、化学材料事業拡大に向けた準備を開始するなど、成長戦略への取組みに注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,856,774千円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

営業利益は269,769千円（前年同四半期比16.2%減）、経常利益は278,099千円（前年同四半期比18.6%減）、四半期純利益は174,630千円（前年同四半期比11.0%減）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

プリント配線板加工事業

プリント配線板加工事業におきましては、期前半は携帯電話やパソコンなどの生産数量増加にともない、フラットプラグ加工や有底ビア充填加工が概ね堅調に推移したものの、期後半にかけデジタル家電向けプリント配線板など一部で円高やデフレの進行による競争激化のため、低調に推移しました。

以上により、プリント配線板加工事業の売上高は1,204,977千円、セグメント利益は375,983千円となりました。

化学材料事業

化学材料事業におきましては、一部で在庫調整の影響を強く受けたものの、小型モーター向けオイルパリア材料や基板保護コーティング材料が堅調に推移しました。

以上により、化学材料事業の売上高は273,555千円、セグメント利益は28,537千円となりました。

設備機器関連事業

設備機器関連事業におきましては、プリント配線板加工用材料や製版販売などが、期初想定を上回る推移となりました。

以上により、設備機器関連事業の売上高は378,240千円、セグメント利益は76,583千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は7,521,888千円（前連結会計年度末比84,307千円減）となりました。この内、流動資産は4,469,263千円（前連結会計年度末比218,762千円減）となりました。これは主に受取手形及び売掛金が148,224千円減少したことによるものであります。

固定資産は3,052,624千円（前連結会計年度末比134,455千円増）となりました。これは主に有形固定資産が130,239千円増加したことによるものです。

負債は674,674千円（前連結会計年度末比182,606千円減）となりました。この内流動負債は551,339千円（前連結会計年度末比181,210千円減）となりました。これは主に未払法人税等が201,614千円減少したことによるものです。

固定負債は123,335千円（前連結会計年度末比1,395千円減）となりました。

純資産は6,847,213千円（前連結会計年度末比98,299千円増）となりました。

これらの結果、自己資本比率は、91.0%（前連結会計年度末比2.3ポイント上昇）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は3,292,367千円（前連結会計年度末比256,696千円増）となりました。

営業活動によって得られた資金は306,375千円（前年同四半期比174,327千円減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益280,130千円、減価償却費129,757千円、売上債権の減少額143,658千円による増加、および法人税等の支払額279,807千円による減少であります。

投資活動によって得られた資金は14,751千円（前年同四半期比239,061千円減）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入242,280千円による増加、および有形固定資産の取得による支出245,759千円による減少であります。

財務活動に使用された資金は52,783千円（前年同四半期比7,001千円増）となりました。これは配当金の支払額52,783千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月期の連結業績予想につきまして、平成22年9月2日に公表しました業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、平成22年12月3日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,150,217	3,140,618
受取手形及び売掛金	1,072,837	1,221,061
有価証券	142,150	142,087
商品及び製品	5,213	2,199
仕掛品	4,587	6,687
原材料及び貯蔵品	39,153	48,549
繰延税金資産	42,950	58,522
その他	12,945	70,746
貸倒引当金	△791	△2,446
流動資産合計	4,469,263	4,688,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,562,971	2,644,999
減価償却累計額	△1,362,173	△1,372,318
建物及び構築物(純額)	1,200,797	1,272,681
機械装置及び運搬具	1,913,045	1,951,098
減価償却累計額	△1,580,456	△1,594,058
機械装置及び運搬具(純額)	332,588	357,040
工具、器具及び備品	219,164	206,710
減価償却累計額	△172,380	△165,916
工具、器具及び備品(純額)	46,783	40,793
土地	594,078	594,078
建設仮勘定	283,584	63,000
有形固定資産合計	2,457,832	2,327,593
無形固定資産		
その他	79,825	86,751
無形固定資産合計	79,825	86,751
投資その他の資産		
投資有価証券	348,184	375,882
長期貸付金	23,157	26,983
繰延税金資産	33,298	28,586
その他	126,133	89,212
貸倒引当金	△15,806	△16,841
投資その他の資産合計	514,966	503,823
固定資産合計	3,052,624	2,918,169
資産合計	7,521,888	7,606,195

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	144,378	134,493
未払法人税等	87,401	289,016
賞与引当金	73,749	74,306
その他	245,810	234,734
流動負債合計	551,339	732,550
固定負債		
長期未払金	94,211	94,211
退職給付引当金	24,123	25,519
その他	5,000	5,000
固定負債合計	123,335	124,730
負債合計	674,674	857,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,196,350	1,196,350
資本剰余金	2,051,849	2,051,849
利益剰余金	3,777,055	3,651,622
自己株式	△192,179	△192,179
株主資本合計	6,833,075	6,707,642
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,950	19,164
繰延ヘッジ損益	△31	△51
為替換算調整勘定	12,219	22,157
評価・換算差額等合計	14,137	41,271
純資産合計	6,847,213	6,748,914
負債純資産合計	7,521,888	7,606,195

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)
売上高	1,908,282	1,856,774
売上原価	1,019,090	1,008,317
売上総利益	889,191	848,457
販売費及び一般管理費	567,085	578,688
営業利益	322,105	269,769
営業外収益		
受取利息	2,797	9,424
有価証券利息	9,064	—
受取配当金	396	429
受取賃貸料	20,957	20,956
その他	8,200	3,822
営業外収益合計	41,416	34,632
営業外費用		
為替差損	16,333	22,193
貸与資産減価償却費	5,705	4,107
その他	—	1
営業外費用合計	22,038	26,302
経常利益	341,483	278,099
特別利益		
前期損益修正益	—	319
固定資産売却益	—	300
貸倒引当金戻入額	—	1,919
特別利益合計	—	2,538
特別損失		
固定資産除却損	29	—
固定資産売却損	6,424	507
会員権売却損	7,514	—
その他	2,584	—
特別損失合計	16,552	507
税金等調整前四半期純利益	324,931	280,130
法人税、住民税及び事業税	164,058	82,886
法人税等調整額	△35,242	22,612
法人税等合計	128,816	105,499
少数株主損益調整前四半期純利益	—	174,630
四半期純利益	196,114	174,630

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	324,931	280,130
減価償却費	147,841	129,757
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	—	△1,395
有形固定資産除却損	29	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	6,424	207
受取利息及び受取配当金	△12,258	△9,854
売上債権の増減額 (△は増加)	△346,133	143,658
たな卸資産の増減額 (△は増加)	23,897	8,072
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,495	11,063
前渡金の増減額 (△は増加)	33,803	12,394
その他	176,164	2,305
小計	357,196	576,340
利息及び配当金の受取額	10,715	9,842
法人税等の還付額	117,271	—
法人税等の支払額	△4,480	△279,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	480,702	306,375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300,000	242,280
有形固定資産の取得による支出	△72,077	△245,759
有形固定資産の売却による収入	2,145	—
投資有価証券の取得による支出	△1,270	△1,281
無形固定資産の取得による支出	△868	△525
貸付金の回収による収入	—	1,152
その他	25,882	18,885
投資活動によるキャッシュ・フロー	253,812	14,751
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△13,588	—
配当金の支払額	△32,193	△52,783
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,782	△52,783
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,350	△11,646
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	680,382	256,696
現金及び現金同等物の期首残高	2,296,135	3,035,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,976,517	3,292,367

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

	プリント配線板 加工事業 (千円)	設備機器 関連事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,175,717	732,564	1,908,282	—	1,908,282
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	385	385	(385)	—
計	1,175,717	732,949	1,908,667	(385)	1,908,282
営業利益	338,998	206,060	545,058	(222,953)	322,105

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

(1) プリント配線板加工事業……………フラットプラグ加工

(2) 設備機器関連事業……………設備機器、フッ素ケミカル製品、スクリーン印刷版

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年5月1日至平成21年10月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う製品・サービスによって事業を「プリント配線板加工事業」、「化学材料事業」、「設備機器関連事業」の3事業に区分しており、報告セグメントとしております。各事業は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「プリント配線板加工事業」は、電子機器に内蔵されるプリント配線板のスルーホールなどにスクリーン印刷を用いて樹脂充填し、平滑研磨により、フラットプラグ加工や有底ビア充填加工、アンダーコート加工などを行う事業であります。

「化学材料事業」は、電子部品等に用いられる化学材料を開発から製造、販売まで一貫して行う事業であります。

「設備機器関連事業」は、プリント配線板加工用材料の製造販売や、電子部品製造装置の販売を行う事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日）

(単位：千円)

	プリント配線板 加工事業	化学材料 事業	設備機器 関連事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,204,977	273,555	378,240	1,856,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	429	429
計	1,204,977	273,555	378,670	1,857,204
セグメント利益	375,983	28,537	76,583	481,104

3. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	481,104
セグメント間取引消去	630
全社費用（注）	△211,965
四半期連結損益計算書の営業利益	269,769

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。